

大社コミュニティセンターだより

き な つ き

杵築地区世帯数
2,077世帯
杵築地区人口
4,694人
(令和8年8月31日現在)

第288号
令和8年9月18日
大社町杵築南 1051-1
電話 53-4494
FAX 53-4498

ホームページは
こちらから



生涯現役宣言の集い/9月13日(日)

会場には約130名の来場があり、開会前の「うきうきわくわくゲーム」では吹き矢や輪投げなどの得点で若さ度を競い、ステージ発表では歌ったり踊ったり笑ったりと、皆で一緒になって楽しみました。最後に生涯現役人である、室田俊孝さん・河原富美子さんと共に「生涯現役宣言」を行い、何歳になっても「生涯現役」であることを誓いました。

同年代の講座・教室の方々や生涯現役人の元気に活動している姿を見て、来場者に良い刺激となるすばらしい集いになりました。「生涯現役宣言」をいただいた室田俊孝さんと河原富美子さん



「生涯現役宣言」をいただいた
室田俊孝さんと河原富美子さん



うきうきわくわくゲームで若さ度チェック!!



会場ものりものり♪



「生涯現役証」を授与された
山崎武男さん(右)



コミセンを拠点に活動している主催講座や団体に日頃の活動の成果を発表していただきました!!



◎男の料理教室/8月29日(土) (総務部主催)



今回は、夏の疲れを吹き飛ばせ!! 男の「担々麺」ということで、チョイ辛料理を作りました。メニューは「辛み担々麺」「海老とモロヘイヤのみぞれ和え」「カボチャのレモンサラダ」の3品をみんなで協力して作りました。暑い時期の調理は、手順が大切。初めて参加された方は、今後レシピを増やしたいと意欲満々でした。

◎心と体のリフレッシュ企画/7月25日(土) (健康スポーツ部主催)

「タヤけポスチャーウォーキング」

講師の片山ゆうきさんから、姿勢を意識した歩き方を教わった後、今年度から新しくなったコースへ出発。夕日に向かって歩きながら、海岸の景色や沈む夕日を楽しみました。

「気持ちよく歩けた」「また参加したい」との声もあり、参加者の皆さんに好評でした。健康づくりだけでなく、地域の自然や人とのつながりを感じる楽しいひとときとなりました。



杵築地区運動会 開催のお知らせ

主催：杵築体育協会 共催：大社コミュニティセンター

日時・場所 10月18日(日)午前9時半～ 大社健康スポーツ公園運動場

今年も半日の日程で開催します。当日は、屋台の出店や〇〇撒き抽選会なども行いますので、お誘いあわせの上、ご来場いただきお楽しみください。くわしくは、9月全戸配布の「体協だより増刊号」裏面、「運動会プログラム」をご覧ください。



お知らせ

子育てサークルえすこ、総務部共催自主企画事業

井上恵助と浜山の開発～不屈のパイオニア(開拓者)の軌跡～



日時：令和8年10月4日(日)9時00分～12時30分

会場：高松コミュニティセンター、浜山公園

日程：9:00 大社コミュニティセンター発

10:00 講演会《高松コミュニティセンター》

演題「井上恵助と浜山の開発」



11:30 フィールドワーク《浜山公園》(～12:10)

12:30 大社コミュニティセンター着

募集人数：10名 参加費：無料 持ち物：筆記用具、雨具

申込締切：9月30日(水) ※ただし定員になり次第締め切ります。



講師：桑本浩泰氏

お知らせ

総務部主催自主企画事業 郷土学びま専科

古代出雲歴史博物館リニューアルオープン記念特別展「その後のワロチとスサノオ」内覧会

日時：令和8年10月15日(木)17時50分～19時10分(現地集合現地解散)

集合場所：島根県立古代歴史博物館(Tel 53-8600)

内容：歴博リニューアルオープン記念特別展「その後のワロチとスサノオ」の内覧会に参加します。当日は、専門学芸員の解説を受けながら鑑賞します。

募集人数：10名 参加費：無料 持ち物：筆記用具

申込締切：9月30日(水) ※ただし定員になり次第締め切ります。



イベント、講座への申込・問い合わせ先

大社コミュニティセンター 電話 53-4494 (平日9時～17時)



令和8年秋の全国交通安全運動

9月21日(月)～9月30日(水)までの10日間

気をつけましょう

10月リサイクルステーション

受付時間・・・7:30～12:00

古紙・・・第1・3木曜日 10月1日・10月15日

飲料用空き缶・・・第2・第4火曜日 10月13日・10月27日

ペットボトル、空きびん・・・第1月曜日 10月5日



【防災特集】

杵築地区災害対策本部主催

◎杵築地区一斉避難訓練/9月6日(日)



例年通り9月の第1日曜日、午前8時の屋外スピーカーならびに防災行政無線からの訓練放送を合図に訓練を開始しました。

「子どもの参加が少ない」「一家族複数人での参加が少ない」などの対策として、昨年からは保育園・幼稚園・小学校の杵築地区在住保護者にも別途チラシを配りましたが、今年は中学校にも範囲を広げました。さらに家族ぐるみでの参加を促す内容にしました。

また、性差や年齢差を意識してもらうために、町内会長様に提出していただく振り返りカードの集合人数を男女別で書いてもらうようにしました。男性目線で考えがちだった災害対策に女性目線を入れることで、多様性のある対応ができるよう努めたいと思います。

二次避難所の受付を『避難者カード』で集約することでスピードアップを図りましたが、更に工夫が必要であることにも気づかされました。

大社コミュニティセンターへの二次避難訓練は越峠町内会の皆様38名が参加されました。消火訓練は仮の宮1～6区町内会の皆様にしていただきました。

皆様のご協力ありがとうございました。



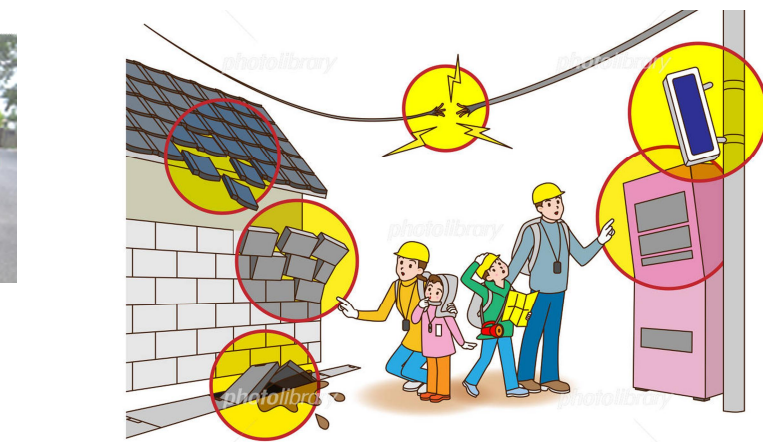
【二次避難された越峠町内会の様子：今回は避難者カードを記入し、受付に提出したら大和室へ集合という流れでした】



【訓練後の本部反省会】

【消防団の皆さん】

すでに提出いただいた振り返りの中から、参考になる取組をご紹介します。



《万一の場合には、街の様子が訓練時とは異なります》

「町内会で周知、前日町内会のライングループで確認連絡、ラインを使用しておられない家には手紙をポストに入れた」

「防災無線は町内会全家庭に設置済みであり情報は徹底されている。避難時に高齢者への声がけもなされていた」

「各世帯1名ではなく、複数人に参加していただいた」「今回の避難訓練で町内の避難場所や会員への連絡方法を再検討したい」

「次のことを集まった人と確認した。①防災行政無線の放送を聞く、②両隣の高齢者宅に声がけする、③安全を確保しながら一時避難所に集合する、④集合しておられない人をできる限りスマホ、ライン等で追跡する、⑤町内会長は速やかに人数を確認し地区担当員に報告する」

「避難場所で点呼して状況把握をした。あいさつの中で次のように話した。①実際の災害はいつ起こるか分からない、②いざという時に自分の命を守る『自助』、そして今日のように声を掛け合い助け合う『共助』が大切、③各家庭で今一度、備蓄や連絡方法について話し合ってほしい」

「備えあれば憂いなし」～家庭内備蓄(ローリングストック)のすすめ～

杵築地区災害対策本部長 戸山裕一

大規模災害が発生した際、空っぽになったお店の棚のニュース映像をよく目にします。災害時には、被災した住民が一斉にスーパーやコンビニに走る上、物流も止まるので、食料品等の必要な物資が手に入りにくくなります。これまでの例から、被災地域外から支援物資が届くには、ふつう3日以上かかると言われており、最低3日分～1週間分×人数分の食品の家庭備蓄が必要とされています。また、災害発生から電気・水道などの復旧まで1週間以上かかることが多く、それまでの間、飲料水や燃料の確保も必要となります。

しかし、それだけの物資を自宅に常備しておくのは簡単ではありません。「ローリングストック」とは、食品等を必要な分より多めに、ふだんから少しずつ買い置きしていき、賞味期限間際のものから使い、使った分を新たに補充することで、常に一定量の食品が備蓄されているようにする方法です。

例として、備蓄しておくといよい(常温保存可能かつ賞味期限の長い)ものを、以下に何点か挙げておきますので、参考にしてください。

主食 米(パックご飯、アルファ米)、乾うどん、パスタ、もち

主菜・副菜 缶詰(ツナ、サンマ、焼き鳥等)、レトルト食品(カレー、丼物)、充填豆腐

汁物類 即席スープ・みそ汁、トマト缶、野菜ジュース、スキムミルク

水 1人当たり1日3リットルが目安。ただし、湯せん、食品・食器等を洗う水は別。

必要量が多いので、通販や宅配でのまとめ買いがお勧めです。

また、お湯を沸かしたり、レトルト食品を温めたりするのに、カセットコンロは必需品(ボンベは、1人で1週間当たり約6本必要)です。

グラッと来たら、慌ててお店に走ったら、もう棚はガラガラだった、ということのないように、日頃から万一来たら備えておきましょう。まずは、今日の買い物からでも始めてみませんか？

参考文献：農林水産省ホームページ

「家庭備蓄ポータル」>「災害時に備えた食品ストックガイド」

仮の宮よ～し!

